厚別区で垣根のない支援を考える。

札幌市地域自立支援協議会厚別区地域部会（以下、厚別区地域部会）では、厚別区の地域福祉に関わる地域包括支援センター、障がい者相談支援事業所、サービス提供事業所、病院、行政、本会等が集まり、地域で暮らす障がい児者・高齢者や困難を抱えている方とその家族の生活の質の向上とより安心な暮らしの実現のために、地域で抱える課題等の解決に向けた検討・協議を行い、連携の輪を深めて行くために活動を進めています。

厚別区地域部会は、昨年２月の設立からこれまでの間、区内の事業所交流会や講演会、区内で活動されている身体障がい者相談員、ろうあ者相談員との情報交換会を開催してきましたが、この度２月18日に「厚別区で垣根のない支援を考える②」という研修会を開催しました。

当日は、区内の民生委員児童委員や福祉サービス事業者等９４名が来場しました。

▲基調講演講師の阪井由佳子氏

全国に先駆けて、「垣根のない支援」ともいえる「富山型デイサービス」事業を展開している富山県のNPO法人にぎやかの阪井理事長からの基調講演では、自身がこれまでの歩んできた道のりと富山型デイサービス15年の取り組みについてご講演いただきました。

講演の中で阪井理事長からは、「今あるさまざまな『垣根』は人間が作ってしまったもの。人間がその垣根を本当にとることができないか、検討してみてはどうだろうか。そして、個々人や事業所がお互いの中にある垣根を少しだけ広げてみることが大切」とのお話をいただきました。

まめ知識　富山型デイサービスとは…？

平成５年、富山県の病院で看護師をしていた３名の方がこのサービスを始めたことから「富山型デイサービス」と言われています。

その特徴は、①年齢や障がいの有無によって利用が制限されることなく、高齢者も、子どもも、赤ちゃんも、障がいのある人もない人も、みんなが一緒になって楽しく過ごすことができる　②建物の多くが民家を改装して作った小さい普通の家であるため、少ない人数で家庭的な雰囲気の中で、必要な時に必要なだけ、気軽に立ち寄るような感じで利用する事ができるといったことが挙げられます。